

Press

November 2012

プレスリリース

インターテキスタイル上海アパレル・ファブリックス

中国国際アパレル繊維・付属品見本市

中国上海 上海新国際博覧中心

2012年10月22日～25日

Angel Ho

Tel +852 2238 9924

Fax +852 2519 8632

angel.ho@hongkong.messefrankfurt.com

www.messefrankfurt.com.hk

www.interstoff-asia.com

ITSA12-FR-e

インターテキスタイル上海アパレル・ファブリックス、98の国と地域から65,000人以上が来場

「サロン・ヨーロッパ」は注目のプレミアム製品を提示

サステナビリティとデザインに対する力強い需要

国際色の高いパビリオンと出展者が特色豊かな繊維を展示、ビジネスの拡大を期待

拡大された周辺プログラムおよびインターテキスタイル・キャットウォーク・ショーは、ダイナミックな業界向けのプラットフォームに刺激を提供

2012年10月22日～25日に上海新国際博覧中心において開催された業界最先端の見本市、インターテキスタイル上海アパレル・ファブリックスは、98の国と地域から65,000人以上が来場者を集め、好評のうちに幕を閉じました。来場者の目的は、28の国と地域から集まった3,358の出展者の中から調達先を見つけることで、出展者数は昨年より5%増加しています。

主催者であるメッセ・フランクフルト香港のシニア・ゼネラルマネージャーであるウェンディー・ウェン (Ms. Wendy Wen) は、この見本市は、来場者数、国際性および質の面で、毎年成長しているとコメントしています。「今回も出展者数、来場者数の両方で良好な数字を残すことができましたが、これは業績目標をさらに引き上げることが可能になる質の高い展示内容やネットワーク構築のチャンスを、誰もが活用できることを示しています。たとえば、ミラノ・ユニカ (Milano Unica) パビリオン、サロン・ヨーロッパ (Salon Europe) 内のプレミアム・ウール・ゾーン、インターテキスタイル・キャットウォーク・ショーなどの立ち上げも成功しましたが、それはファッション業界におけるプロの方々のためのダイナミックな展示プラットフォームとして、この見本市をさらに育てようという私たちの決意の現れなのです。」

「サロン・ヨーロッパ」は注目のプレミアム製品を提示

サロン・ヨーロッパでは、ヨーロッパに存在する数多くのサプライヤーが高級ファブリックやアクセサリを展示しました。それはミラノ・ユニカおよびプレミアム・ウール

Messe Frankfurt (HK) Ltd
3506 China Resources Building,
26 Harbour Road, Wanchai
HKSAR, P.R. China



messe frankfurt

ル・ゾーンにまとめて展示されていましたが、いずれも中国のラグジュアリー市場への浸透を目指すものです。

インターテキスタイル北京で成功裡にデビューを飾ったミラノ・ウニカのパビリオンは、今回の上海においては、イタリア国内でもっともプレステージ性の高いテキスタイルおよびアクセサリ企業 124 社を集めました。見本市期間中、インターテキスタイル・アパレル・ファブリックスとミラノ・ウニカの主催者は、今後 3 年間のパートナーシップ契約に正式に署名しています。「メッセ・フランクフルトは、世界最高の見本市を創造するため、適切な人々を結集することに注力しています。長期にわたるパートナーシップの第一歩として、ミラノ・ウニカとの提携はたいへん喜ばしいものです」と、メッセ・フランクフルト取締役のデートレフ・ブラウン (Mr. Detlef Braun) は述べています。

ボノット (Bonotto SpA) の代表であるロレンツォ・ボノット氏 (Mr. Lorenzo Bonotto) も、この領域におけるユニークさに賛辞を惜しみません。「ミラノ・ウニカのパビリオンは他に類を見ないもので、当社の『メイド・イン・イタリー』コレクションを展示する完璧な場所でした。見本市では、世界中のテキスタイル市場を見渡すことができ、テキスタイル業界の重要なプレイヤー各社とのミーティングの機会も提供してくれました。」

中国の国民の購買力が向上するにつれ、プレミアムなファブリックに対する需要も高まっています。中国の女性衣料ブランドであるサンビーナ (Sunvina) を代表するリム・ビーン氏 (Mr. Lim Bean) は、次のようにコメントしています。「ミラノ・ウニカに展示されていた高品質素材を調達することにより、お客様に、より長期的な価値を提供できるようになるでしょう。」

「プレミアム・ウール・ゾーン」を構成しているのは、フランスと英国に本拠を持つ 6 社の高品質ウール・サプライヤーですが、その中には英国の名門ヒールド (Hield) も含まれています。「この見本市は、一貫して世界のテキスタイル・メーカーの名門を集めていますが、それは当社の精神にも共通するものです」と、ヒールドのセールスマネージャーであるライラ・チャムシ・パシャ女史 (Ms Laila Chamsi-Pasha) は述べています。「国内の衣料ブランドやプライベート・レーベル各社と商談がまったり、とても嬉しく思っています。」

フランスのドーメル (Dormeuil) の中国・東南アジア担当地域マネージャーであるピエール・デュポン氏 (Mr. Pierre Dupond) は、次のように付け加えています。「大手サプライヤーとの差別化をしてくれるプレミアム・エリアは、当社にとって良いイメー

ジを生み出します。中国マーケットのトレンドは急速に動いていますが、お客様は当社の装飾的なカラーを使用した製品に興味を持って頂いています。」

海外に関するその他のハイライトとしては、長い歴史を持つドイツ・パビリオン(23社)、ウール製品で有名な英国パビリオン(11社)、アソシアシオン・セレクトィーバ・モーダ(Associação Selectiva Moda)がとりまとめ役となり3年振りに復帰したポルトガル・パビリオン(8社)などがあります。

ドイツに本拠を置く繊維会社ドラロン(Dralon GmbH)のマーケティングおよびセールスを統括するマンフレッド・ボルチャーズ氏(Mr. Manfred Borchers)は、特殊繊維に力を入れた展示を行いました。「来場者の質はあきらかに高まっています。当社のブースに来場される決裁権者は、おもにアパレルとファッションのブランドに在籍される人々でした。中国では大きな成功が得られています。」

ウルダグ・テキスタイル輸出業者協会(Uludag Textile Exporters Association)により編成され、初出展となるトルコ・パビリオン(17社)において、カルス・テクスタイル社(Karsu Tekstil)はウールとシルクの混紡を展示しました。同社のファブリック部門でセールスとマーケティングを担当するムサ・バグラール氏(Mr. Musa Baglar)は、次のように語っています。「インターテキスタイル見本市は、世界のテキスタイル産業界における調達の場として有名です。今回は、中国、イタリア、そして日本のバイヤーから良好な反応が返ってきました。とても忙しい見本市でしたが、それは当社にとって内容が非常に濃いものだったからです。」

サステナビリティとデザインに対する力強い需要

中国のラグジュアリー市場はヨーロッパのトップ・サプライヤーを誘引していますが、同時に創造力に富んだデザインに対しても力強い需要が存在します。それに対応する形で、メッセ・フランクフルトは9社を集め「ヴァーブ・フォー・デザイン・ゾーン」(Verve for Design Zone)を設けました。ここでは、刺激に溢れたテキスタイルおよびアパレル・デザインが特徴の、国際色溢れるテキスタイル・デザイナーを中心とする展示を行ないました。オーストリアのロンギーナ・フィリップス・デザイン(Longina Phillips Design)は、ユニークなデジタル・プリンティングを行う数社のうちの1つです。マネージング・ディレクターであるローラ・フィリップス女史(Ms. Lola Phillips)は、次のようにコメントしています。「私たちは、各デザインを1回しか販売しません。購入されたデザインの知的所有権は、お客様に移転します。この見本市への参加はすばらしい体験で、多くのことを学びました。」

サステナビリティは、世界のファッション産業におけるもう1つの主要なトレンドです。スポーツウェア・ブランド、プーマ(Puma)でファブリックとトリミングに関するグループ統括者である台湾のグルシャン・クマール氏(Mr. Gulchan Kumar)は、ビジネスマッチング・サービスにより、アジアで活動するエコファブリックのメーカーを見つけました。「この見本市は、アジアにおける当社の調達ニーズを満たしてくれる、重要なプラットフォームです。プーマは、調達する製品のサステナビリティを真剣に追求しています。このニーズに関して、ビジネスマッチング・プログラムはきわめて効果的で、素晴らしいサプライヤーと出会うことができました。」今回の見本市では、質の高いバイヤーと出展者の間で、100を超えるビジネスマッチング・ミーティングが設定されました。

最先端をゆく業界誌『テキスタイル・インテリジェンス』(Textile Intelligence)の編集長であるロビン・アンソン氏(Mr. Robin Anson)は、セミナーにおいて持続可能なテキスタイルの開発に関して意見を交換したときも、同様な意見を述べていました。「このセミナーは、業界各社を代表して来場されている皆様に、中国のテキスタイルと衣料産業界が直面しているサステナビリティ関連の問題に関する私たちの経験と手腕を示す、完璧なチャンスとなりました。」

国際色の高いパビリオンと出展者が特色豊かな繊維を展示、ビジネスの拡大を期待

グループ・パビリオンに再び参加した繊維のスペシャリスト、インビスタ(INVISTA)で、東洋地域アパレル担当副社長を勤めるダン・コトキン(Mr. Dan Kotkin)氏は、次のようにコメントしています。「洗練された市場の需要に合わせて、当社の最新繊維を活用できる会社にお見せするために出展しました。中国は、未来の繊維における大きな変革に関与するであろうと、当社は考えています。この見本市は毎年、当社およびサプライヤー各社に、素晴らしいビジネスを生み出してくれています。」

インターテキスタイル上海アパレル・ファブリックスはまた、コットン・カウンシル・インターナショナル(Cotton Council International)、デュポン(DuPont™)、ヒョースングループ(Hyosung Group)、グラシムグループ(Grasim Group)、韓国化繊協会(Korea Chemical Fibers Association)、レンチング(Lenzing)など繊維グループのパビリオンも数多く設けられています。これらのグループはパートナー工場と連携し、ユニークな繊維および製品を提示しました。

日本からの出展者も、中国における市場シェアの拡大を見据えています。東レ中国の繊維衣料部門を代表するジェシカ・ファン女史(Ms. Jessica Huang)は、次

のように述べています。「中国のお客様の価値観は変わってきたと感じます。高級な極細繊維やスエード・ファブリックに大きな興味を持たれる中国のバイヤーが増加してきました。それらは当社の主力商品であり、インターテキスタイル上海アパレル・ファブリックスは、当社にとって主要なマーケティング・プラットフォームなのです。」

一方で、紳士・女性衣料向けの専門業者である台湾のユニバーサル・テキスタイル(Universal Textile)を初めとする各社は、新市場におけるビジネスを探求しています。「私たちは、中東やラテンアメリカといった主要市場で事業を拡大しようと努力しています」と、同社の加工系部門のマネージャーであるロック・ヤオ氏(Mr. Rock Yao)は述べています。「嬉しいことに、私たちがお会いしたバイヤーの約3分の2は新規のお客様でした。」

高級先染めファブリックおよびシャツ用生地メーカーであるルータイ・テキスタイル(LuThai Textile Co., Ltd.)は海外マーケットに進出することを目標に掲げています。研究開発センターのディレクターであるジェイソン・チャン(Mr. Jason Zhang)氏は、次のように語っています。「当社の主力は、アメリカとヨーロッパ市場向けに製造する、高級カジュアルウェア向け商品です。見本市期間中、私たちは欧州にあるトップクラスのお客様と真剣な打ち合わせができました。今年の出展が素晴らしい成功となったことは間違いありません。」中国のサプライヤーとして有名な華孚色紡股份有限公司(Huafu Top Dyed Melange Yarn Co., Ltd.)は2013年秋冬のカラー・トレンドを発表し、先染めの紡績糸を展示しました。

見本市には、アジアのサプライヤーも数多くのパビリオンを出展しています。たとえば、インド(14社)、インドネシア(9社)、韓国(118社)、パキスタン(16社)、タイ(28社)などです。

アクセサリ製品に対する需要を反映し、アクセサリーズ・ホール(Accesories Hall)も、年を追うごとに規模が拡大しています。2ホールを占めて展示を行う540社のなかには、米国のタイガーボタン(Tiger Button)、日本の島田商事、エスケル・エンタープライズ(Esquel Enterprises)などが含まれます。フラミス・イタリア(Framis Italia)(香港)はアクセサリーズ・ホールに出展できたことに満足しており、輸出担当マネージャーであるアルド・ヴィスラー氏(Mr. Aldo Vissler)は、次のように語っています。「この見本市では、世界から集まって頂いたバイヤーの方々に、当社の業務内容に関する情報をお伝えするチャンスを得ることができます。これからのお客様には当社がどのようにお手伝いできるか、展示した衣料品を通じて具体的にイメージして頂くことができます。」

拡大された周辺プログラムおよびインターテキスタイル・キャットウォーク・ショーは、ダイナミックな業界向けのプラットフォームに刺激を提供

本年も、さまざまな関連イベントが見本市を彩りました。初開催となるインターテキスタイル・キャットウォーク・ショー、中国国際ファブリック・デザイン・コンペティション、インターテキスタイルならではの「Directions」トレンドフォーラム、その他の情報豊かなセミナーなどが開催されました。

香港のデザイナーのトップに君臨するウィリアム・タン氏 (Mr. William Tang) は、インターテキスタイル・キャットウォーク・ショーで『ナイト・アンド・デイ』コレクションを提示して高い評価を受けました。登場した衣料は、出展者のファブリックを使用したものです。タン氏は、次のようにコメントしています。「20年前のインターstoff・アジアでメッセ・フランクフルトと協力しました。今回はインターテキスタイル上海アパレル・ファブリックスで再び力を合わせることができ、大変嬉しく思っています。新しいデザインやアイデアを提示する良い機会となりました。」またキャットウォーク・ショーと連携する形で、ダンモ (Danmo)、ファキ (Huaqi)、レンチング (Lenzing)、ルータイ (Luthai)、石獅布地協会 (Shishi Cloth Association)、蘇州 CINC (Suzhou CINC) などの各出展者も、自社素材を使用したデザイン製品を提示しました。

独立して開催された中国国際ファブリック・デザイン・コンペティションは、中国で他に類を見ないイベントです。今回の受賞者は日本の小松精練株式会社、英国のテキスタイル企業であるアブラハム・ムーン & サンズ (Abraham Moon & Sons Ltd.)、デニムのサプライヤーであるルンフォン・テキスタイル (Lung Fong Textile Co., Ltd.)、紹興豊強紡織品有限公司 (Shaoxing Fengqiang Textile Co., Ltd.)、株式会社林与 (Hayshiyo Co., Ltd.) などです。

また、『Directions』トレンドフォーラムにも多くの来場者が訪れました。このフォーラムは、米国ダネジャー・クリエイティブ・サービス社 (Doneger Creative Services) に在籍するカイ・チョウ氏 (Mr. Kai Chow) のデザインと指揮によって開催されました。刺激に溢れたディスプレイとガイド付きツアーを通じ、ここでは 14 の 2013 年秋冬トレンドが提示されました。米国のブルックス・ブラザーズ (Brooks Brothers) で女性用テクニカル・デザインを担当するマネージャーであるヴァレンティーナ・ジェジョラ女史 (Ms. Valentina Djejora) はこの展示に大きな魅力を感じました。「私たちは、ここ 5 年ほど、全世界業務向けの調達を行うために、この見本市に来ています。トレンドフォーラムでは、大胆なカラーやプリントのすばらしいコレクションを見ることができました。インターテキスタイル上海アパレル・ファブリックスは、当社にとってすばらしい調達プラットフォームとなっています。」

バーマ・ビバス(Burma Bibas)のディレクターであるロバート・パリシ氏(Mr. Robert Parisi)は、新しいメンズウェア用のファブリックを探して米国から来場しました。「男性用衣料品の分野には派手な色を求める強い需要があり、今回は新しいラインナップ用のアイデアをもらいました。上海で行われているこの見本市は、国際的なマーケットの全体像を把握するためのすばらしい機会となっています。」

見本市を補完する形で、認証から試験、マーケット速報、テキスタイル業界に關係する法的な問題などといった多様なトピックを取り上げる 38 のセミナーも開催されました。このセミナー・プログラムのハイライトはデザインとトレンドをテーマにしたもので、出席者の合計は 1,528 人に上りました。华懋(厦門)织造染整有限公司(Huamao(Xiamen)Weaving Dyeing & Finishing)でファブリック開発を担当するルピン・チャン(Luping Zhang)氏は、次のようにコメントしています。「2013 年のカラーとファブリックに関するトレンドを詳しく理解することができました。ビジネスに役立ちますので、セミナーはどれも見逃したくなかったです。」

大韓貿易投資振興公社(Korea Trade-Investment Promotion Agency - KOTRA)が企画した『コリア・デイ』(Korea Day)も重要なイベントです。韓国の子テキスタイル産業向けに、国内外の専門家が新しいビジネスチャンスに関する解説を行いました。

見本市の総括として、メッセ・フランクフルト香港のウェンディー・ウェン(Ms. Wendy Wen)は、次のように述べています。「インターテキスタイル上海アパレル・ファブリックスは、世界中から集まった高品質ファブリック、エコ・テキスタイル、サステナビリティ関連情報、ファッション・アクセサリなどにより、世界のアパレル・ファッション市場向けの包括的なビジネス・プラットフォームとなり得ていることがはっきりと分かります。」

今回のインターテキスタイル上海アパレル・ファブリックスは、2013 年 10 月 21 日～24 日に開催されます。主催者は、メッセ・フランクフルト香港、中国国際貿易促進委員会(CCPIT)紡績行業分会(Sub-council of Textile Industry)、中国纺织信息中心(China Textile Information Center)となっています。

見本市に関する詳細情報は、以下のウェブサイトをご参照ください。

www.intertextileapparel.com

メッセ・フランクフルトが世界で展開するテキスタイル関連見本市の情報は、以下をご参照ください。

<http://texpertise-network.com>

出展・来場に関するお申込み・お問合せ先

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

海外見本市プロジェクトチーム

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-3-2 曙杉館ビル 7F

Tel. 03-3262-8460 Fax. 03-3262-8442

E-mail. info@japan.messefrankfurt.com

報道関係者からのお問合せ先

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

プレス・PR 担当: 久野 / 北島

Tel. 03-3512-3277 Fax. 03-3262-8442

E-mail. press@mesago-messefrankfurt.com

メッセフランクフルト社について

売上高 4 億 5,700 万ユーロ、世界各国に 1,769 人以上の従業員を擁するメッセフランクフルトは、ドイツ最大の見本市主催会社である。メッセフランクフルトグループは世界中に 28 の子会社、5 つの支店、52 の海外セールスパートナーのネットワークを持ち、世界 150 カ国以上で事業を展開している。“made by Messe Frankfurt”の見本市は、世界中の 30 カ所以上の会場で開催されている。2011 年、メッセフランクフルトが開催した 101 本の見本市のうち、半数以上がドイツ国外で開催されている。578,000 m²の敷地面積を誇るドイツ・フランクフルト国際見本市会場には、現在 10 の展示ホールとコンgresセンターが設置されている。同社株の 60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有。詳細情報は、www.messefrankfurt.com をご覧ください。* 暫定数値(2011)